

平成29年度「埼玉・教育ふれあい賞」

～受賞学校・団体の活動内容を紹介します～

埼玉県では、「彩の国教育週間」に合わせて、日々の教育活動に熱心に取り組んでいる学校や団体を「埼玉・教育ふれあい賞」として表彰しています。

ここでは、平成29年度「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞した40団体の主な活動内容を紹介します。

確かな学力、規律ある態度の育成や体力の向上

1 川口市立元郷南小学校

【食に関する教育】

<6年間を通じた食育の推進>

「食に関する指導の充実」「特色ある学校給食」「家庭・地域との連携」に重点をおいて活動を進めている。1年生の保護者を対象とし、親子で「食」について学ぶことができる「1年生親子会食」、同じ誕生日の先生と子供が一同に集まる「誕生日給食」、児童の縦割り活動を利用した「なかよし給食」などを実施している。このように、学校全体で「食に関する教育」に積極的に取り組んでいる。



2 所沢市立清進小学校

【学力の向上】

<算数科を通じた「言語力を高め、豊かに人とつながる子どもの育成」>

平成28年度の研究主題を「言語力を高め、豊かに人とつながる子どもの育成」とし、埼玉県学力・学習状況調査の結果を学年ごとに分析し、課題を見出して、家庭とも連携して取り組んできた。平成28年度埼玉県学力・学習状況調査において、いずれの段階でも「学力の伸び」が顕著にあらわれ、学力調査データ活用事業のモデル校となっている。



様々なふれあいや体験活動（「埼玉の子ども70万人体験活動」等）

3 加須市立騎西中央幼稚園

【豊かな体験活動】

<幼稚園・家庭・地域が連携した体験活動>

心豊かな幼児の育成を目指し、畑での様々な野菜作りや収穫した野菜を使ってのカレー作りを地域の方々と一緒に行っている。また、地域の応援団の方々の協力で実施する「団子作り・体操教室・太鼓・フラダンス」など、様々な体験活動を実施している。このような体験活動を通じて、園全体として、おもてなしの心、気遣いの心、思いやりの心、感謝する心を培っている。



4 学校法人 牛島学園 牛島幼稚園

【豊かな体験活動】

<栽培活動、調理活動を通じた五感で感じる体験活動>

さつまいもや玉ねぎ、茄子、じゃがいも等を園児が種を蒔き、苗を植え、水やりを行い、最後に収穫するという栽培体験を行っている。また、シチュー作り、スイートポテト作りなどの調理活動も行うことで、五感を通して野菜の生長の観察や、食べ物への意識付けを行っている。自分たちが育てた野菜ということもあり、苦手なものでも進んで食べようとする意欲が育まれている。



5 さいたま市立植竹小学校

【豊かな体験活動】

<人と文化、心のつながりを広げる「盆栽教育」>

平成18年度から地元地域の文化でもある盆栽の学習を11年間継続し、これまで1,771名の児童が関わってきた。盆栽教室は、5年生の秋にマイ盆栽を作ることから始まり、卒業式の会場に飾って一緒に卒業する。盆栽教室では、卒業生や保護者、ボランティアの方が講師をするなど、地域連携も深めている。このように、盆栽の世話をするという体験活動を通して、心のつながりを大切にし、地域に誇りをもつ心が育まれている。



6 加須市立昭和中学校

【豊かな体験活動】

＜「奉仕の心をもち勤労を重んじる生徒」の育成＞

「気づき、考え、実行する」の精神で、生徒会が主体となり、地域の美化活動に取り組んでいる。「クリーンサンタ作戦」として、クリスマスの朝、サンタの帽子を被って地域の清掃を実施したり、夏祭りの翌朝に、「昭和中バスターズ」としてゴミ拾いを実施したりしている。奉仕の心や協調性など豊かな人間性が育まれるとともに、地域の方からの感謝の言葉で、生徒の自己有用感が高まっている。



7 埼玉県立小鹿野高等学校

【豊かな体験活動】

＜地域とつながるエコ活動＞

地域でエコキャップ回収を行い、その収益を発展途上国へのワクチン支援としている。また、古紙で手漉きの葉書を作成し、地域イベント等で販売した収益を義援金として直接、被災地に届けている。さらに、社会福祉協議会と連携し、子供、障害者、高齢者などを対象とした地域イベントでのボランティア活動も行っている。このような活動を通じて、人を思いやる心や社会性が育まれている。



8 埼玉県立鳩山高等学校

【豊かな体験活動】

＜「鳩山高校ステップアッププロジェクト」による社会貢献活動＞

平成23年度から社会貢献できる生徒の育成を目指し、学校近隣の公園や最寄駅での花壇整備や落ち葉拾い、清掃活動等を継続的に実施している。平成25年度からは、東日本大震災の被災地である福島県いわき市で被災農家の農業生産の回復に向けた農地復興ボランティア活動を実施するなど、社会貢献に対する意欲の高揚や、生徒達の人間性を育む活動になっている。



9 学校法人 東京農業大学 東京農業大学第三高等学校

【豊かな体験活動】

＜ボランティア活動を通じた生徒の育成＞

本校の取組は、平成5年に介護福祉施設でのボランティア募集について、生徒自らが動きボランティア愛好会を組織したことから始まっている。現在は、公園清掃、福祉施設での夏祭り、保育関係、市民体育祭等でボランティア活動を行っている。ボランティアの募集については、全校に呼び掛けており、多くの生徒が参加するなど、地域を大切にする心や奉仕の心が学校全体で育まれている。



10 ガールスカウト埼玉県第36団

【豊かな体験活動】

＜自己開発と奉仕の精神を養うスカウト活動＞

少女たちが自ら考え行動できる人となれるよう、実践的な活動プログラムを通して、一人一人の力を伸ばす活動を行っている。キャンプなどの野外活動では、自分のことは自分でできる技術とともに仲間と協力し合う重要性を学ぶ。また、地域の各種イベントのお手伝いやユニセフ募金、被災地ボランティア（募金や桜の木植樹）などを通じて、周囲の人や地域に働きかけ、奉仕の精神を養っている。



11 埼玉県酪農教育ファーム推進委員会

【豊かな体験活動】

＜五感を生かした学びの場「わくわくモーモースクール」＞

平成17年度より、毎年「わくわくモーモースクール」を開催している。「成牛とのふれあい」「子牛への哺乳」「バターづくり」「搾乳の見学」などの体験コーナーを学校に設け、五感を生かした学びの場となっている。これまで、25市町の小学校29校、特別支援学校1校で開催し、14,175名の児童生徒が参加している。活動を通して、給食における牛乳の飲み残しの減少や、酪農・命への理解が深まっている。



1 2 人形劇団 モナリ座

【豊かな体験活動】

＜温かみのある人形たちが繰り広げる人形劇＞

さいたま市岸町公民館を拠点に、小学校や保育園、地域の文化祭にも参加し、誰にでも気軽に人形劇を見てもらえるような機会を提供している。劇で使用する人形や舞台はすべて手作りで、民話からオリジナルの物語まで幅広く公演している。県が実施している「埼玉子ども支援ネット事業」にも協力し、平成28年度は、700人以上の子供たちが人形劇を鑑賞した。



1 3 ボーイスカウト西部初雁地区協議会

【豊かな体験活動】

＜スカウト活動による青少年健全育成＞

平成20年5月に旧西部地区協議会と川越地区協議会が合併し、新たに結成された協議会である。現在、12ヶ団、857名のスカウト、指導者が加盟し、野外活動、奉仕活動を中心に活発に活動を展開している。ボーイスカウト西部初雁地区協議会では、全国一斉の「スカウトの日」の清掃活動、その他地域の行事等に積極的に参加し、地域における青少年の健全育成、地域発展に貢献している。



1 4 八潮市商工会青年部

【豊かな体験活動】

＜「50年後への種まき」郷土愛を育む地域との交流活動＞

「八潮未来育成事業」「八潮ふるさと体験教室」「働く大人から学ぶ会」などの活動を実施している。地域の未来を担う八潮市在住の小学生から中学生にとっては郷土愛を育む取り組みになり、参加者のOB・OGは地元根付き、社会人や大学生として活躍している。地域と連携し、子供たちの未来・地域の未来を見据えて熱心に活動することで、将来を担う子供たちの育成に繋がっている。



15 小鹿野町立三田川小学校

【学校・家庭・地域の連携】

＜「地域の子は地域で育てる」学校応援団活動＞

「学習応援団」「安全応援団」「いきいき応援団」の3つで組織し、年間の活動日数は200日、延べ700人以上が活動している。「地域の子は地域で育てる」といった学校・家庭・地域が一体となった取組体制は、平成以前から始まり、地域にしっかりと根付いている。特に「いきいき応援団」では、放課後子供教室の指導者として様々な体験活動を通して、児童の健やかな成長に貢献している。



16 小川町立八和田小学校 学校応援団

【学校・家庭・地域の連携】

＜「地域で子供を育てる」学校応援団活動＞

平成24年度に、地域住民や団体を学校応援団として組織し、「学習支援」「安心・安全活動」「環境整備」の3つに分けて活動している。活動日は、授業日数よりも多く、長期休業中や土・日曜日に校内環境整備などが行われている。毎年100名以上の応援団員を学校に招待し、感謝の会を開催するなど、地域と子供をつなぎ「地域で子供を育てる」ことを実践している。



17 久喜市立清久小学校

【学校・家庭・地域の連携】

＜学校と地域を繋ぐ豊かな教育活動＞

学校経営の柱に「地域の教育力の導入、地域への貢献活動の実践」を位置づけ、「地域連携プラン」を作成し実践している。学校と地域合同のきよく大運動会をはじめ、鼓笛や里神楽の地域イベントでの演技、公民館環境整備活動などにも、児童・教職員が積極的に参加している。お茶づくり、坐禅・陶芸体験など、「地域の子どもは地域の輪が育てる」を合言葉に学校と地域の連携を推進している。



18 深谷市立八基小学校

【学校・家庭・地域の連携】

<「ふるさと教育」の推進>

平成28年度から、学校運営協議会を核として、
渋沢栄一翁生誕の地を生かした『ふるさと教育』を
推進している。年間を通して、地域の偉人の生き方
を学んだり、地域の方々と一緒に公園を清掃した
り、渋沢栄一翁生誕祭など地域行事に参加したりし
ている。全ての児童が、地域の行事に参加するなど、
地域に根ざした児童の育成に繋がっている。



19 川口市立小谷場中学校

【学校・家庭・地域の連携】

<学校と家庭・地域が一体となった子供たちの育成>

学校・家庭・地域が協力し、育て、守り続けてき
た紫陽花の森。花の咲く時期に、ぜひ地域の方に見
ていただきたくて始めた「紫陽花まつり」は今年で
8回目を迎え、約1,000人の来校者でにぎわう。
緑化や修繕作業、学習支援なども地域の方々に協力
していただき、また、生徒たちも地域の行事などに
参加する中で、生徒たちの地域を大切に思う心が育
まれている。



20 鶴ヶ島市立南中学校

【学校・家庭・地域の連携】

<「サザン地域支え合い協議会」等と連携した体験活動>

「地域との連携を育む」ことを目的として、「サ
ザン地域支え合い協議会」等と連携し、命の尊さや
喜びなどを学ぶ授業「赤ちゃんふれあい体験」の実
施や「サザンふれあい運動会」、「わいわいがやが
や祭り」などにボランティアとして参加している。
このような地域との連携による体験活動を通して、
生徒の豊かな心が育まれている。



2 1 埼玉県立上尾特別支援学校

【学校・家庭・地域の連携】

＜地域とのつながりを大切にした「自立に向けた確かな力」の育成＞

キャリア教育を推進する視点から、平成23年度より学校教育目標を「自立に向けた確かな力～わかる・できる・つながる～」と掲げている。小学部では学校ファームでの体験活動、中学部からは職場見学や終日の作業学習を行い、高等部では現場実習や企業と連携した校内実習や就業体験を実施している。このような体験を通して、保護者や地域と連携を強め、児童生徒の自立に向けた力を培っている。



2 2 伊奈町人権教育総合推進会議

【学校・家庭・地域の連携】

＜町全体で推進する人権教育＞

平成27年度に人権教育総合推進会議を設置し、「学びをひろげ 絆と信頼を育む まちづくり」をテーマに掲げ、人権教育の総合推進に向けて、全町を挙げた研究実践に取り組んでいる。「人権感覚育成プログラム」を活用した人権感覚の育成、学校間連携、地域で一貫した指導の推進など、地域全体の人権意識の高揚を図っている。町全体が一体となり、人権教育を推進し、人権意識が高まっている。



2 3 春日部市教育委員会（春日部市放課後子ども教室）

【地域との連携】

＜放課後子ども教室を通して広がる地域の輪＞

平成20年度に内牧小学校で事業を開始し、平成29年度現在、市内24小学校中18校で放課後子ども教室を実施している。地域の方々や保護者、学校の協力を得て、様々な体験活動や、異学年、世代間の交流を取り入れ、地域における人と人を繋いでいる。このような異年齢交流や地域における交流を通じて、児童のコミュニケーション力が向上したり、地域への愛着が増してきたりしている。



24 川越市マレットゴルフ連盟

【学校と地域の連携】

＜マレットゴルフを通じた交流活動＞

平成13年度から川越市立霞ヶ関東小学校のクラブ活動との交流を毎年度実施している。川越市霞ヶ関東小学校には、文科系も含め、9つのクラブがあり、クラブ活動ごとに交流日を設定し、マレットゴルフ体験を行っている。平成28年度までに、154回、延べ3,168名がマレットゴルフを体験しており、地域の大人との交流の機会になるとともに、運動するきっかけづくりにもなっている。



25 久那獅子舞保存会

【学校・家庭・地域の連携】

＜「久那の獅子舞」を通じた学校・家庭・地域の連携＞

秩父市久那の葛城神社の例大祭で奉納される「久那の獅子舞」の保護保存と継承に努めている。近年は地元の久那小学校の3年生を対象に、総合的な学習の時間を利用した伝承活動を行っており、その成果は校内での発表会だけに留まらず、葛城神社例大祭やイベント等でも披露されている。児童、保護者、学校関係者が地域文化に触れる絶好の機会となっており、地域への愛着と連携が深まっている。



26 越谷市大袋地区民生委員・児童委員協議会

【学校や家庭との連携】

＜児童生徒との触れ合いを通じた支援活動＞

地区内の中学校3校、小学校4校と平成元年から年1回の意見交換会を開催し、平成10年からは主任児童委員を中心に、中学校単位でブロックに分け懇談会を開き、共通認識のもと児童生徒の問題解決に協力する等、連携を強化している。回数を重ねるごとに相談等も多く受けるようになり、学校との連携を深めている。子供の見守り活動や環境整備に尽力し、児童生徒の健全育成に貢献している。



27 子ども大学ちちぶ 実行委員会

【地域との連携】

＜地域の教育力を結集した子ども大学＞

平成23年度から「子ども大学ちちぶ」を開校し、市町の枠を越えて小学4年生から6年生までの異なる学校・学年の子供たちが一緒に学ぶ機会を提供している。「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」の3つの分野を柱に、学校や家では教わらないことを分かりやすく教えている。秩父地域の教育力を結集して運営することで、子供たちの故郷を大切にする心や豊かな感性が育まれている。



28 志木市立いろは遊学図書館

【学校と地域の連携】

＜児童と地域の絆を深める「学社融合施設」＞

「学社融合」の考えのもと、図書館、公民館、小学校が一体化した複合施設として作られた図書館であり、公共図書館及び、小学校の学校図書館としての二つの機能を果たしている。図書館と学校で棟や入口は違うものの、施設として明確な区分けはなく、児童と地域の方が同じ時間に利用している。そのため、児童は日常的に公共施設を利用することとなり、地域の人々との交流が生まれ、社会性が自然と育まれている。



29 NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポ

【学校・家庭・地域の連携】

＜町に活気を与えるスポーツ交流＞

スポーツ活動の他に、杉戸町ボランティア事業や杉戸町から委託を受けた地域活性化事業も担っている。また、杉戸小学校の放課後スポーツ教室や、杉戸中学校の卓球部、体操部の外部指導者として支援しており、県大会に出場し、良好な成績を収めるなど、その熱心な指導は体力の向上に貢献している。



30 和光市教育委員会（放課後子ども教室・わこうっこクラブ）

【学校・家庭・地域の連携】

<地域との絆を深める放課後子ども教室・わこうっこクラブ>

平成17年から地域子ども教室を始め、平成19年度からは名称を「放課後子ども教室」と改め、全小学校において実施している。プログラムの指導は地域の方が、児童の見守りは地域の方に加え、PTA等の保護者からの協力も得て開催している。また、平成27年度からは毎日開催する「わこうっこクラブ」を開設し、地域の方の協力を得て運営をしている。両事業ともに学校を拠点として地域・保護者が連携することで、健やかな児童の育成に繋がっている。



学校間連携による児童生徒の交流活動、交流体験

31 埼玉県立春日部特別支援学校PTA

【学校間連携】

<保護者が主体となった学校間連携>

平成5年度より、近隣中学校PTAと共催のクリスマス交流会を実施し、子供同士の交流を進めるとともに、近隣小中学校との連携により、本校文化祭のボランティアとしてPTAの方に参加いただいている。長年にわたり、近隣の学校と連携したPTA活動を行い、地域の保護者が実際に障害のある児童生徒と接し、理解してもらうことで、地域での支援体制を得ることが出来ている。



不登校やいじめ、生徒指導、中途退学防止等への取組

32 三郷市立栄中学校

【いじめ防止】

<望ましい人間関係づくり「あはは学校」の取組>

平成14年度より「あはは学校」（「あいさつは笑顔でします」「『はい』と返事をします」「はきものをそろえます」）を合い言葉に家庭や地域を巻き込みながら様々な取組を推進している。生徒会を中心とした挨拶運動や、授業規律の徹底、生徒主体のボランティア活動や校内の伝統行事等取組の全てに「あはは学校」が基盤となっており学校・家庭・地域の望ましい人間関係づくりを構築している。



3 3 鴻巣地区販売防犯連絡協議会

【防犯・非行防止活動】

<「しない・させない・許さない」非行防止教室>

鴻巣地区販売防犯連絡協議会は、スーパー、小売店等の事業主により、会員109店舗で構成され、33年の長きにわたり、万引きを「しない・させない・許さない」を活動指針とし、非行防止ポスターやチラシを作製・配布している。また、市内中学校において「万引き防止フォーラム」と題し、警察との連携による非行防止教室や各教室に分かれての講話を行い、生徒の社会性の醸成、豊かな心の育成に貢献している。



3 4 深谷警察署少年非行防止ボランティア連絡会

【被害防止・交通安全活動】

<安全指導「被害防止・交通安全呼びかけキャンペーン」>

「地域の少年は、地域で守り育てる」の理念のもと、規範意識の醸成及び犯罪被害防止のため、街頭補導活動として少年への声掛けを行っている。また、平成27年度からは、管内全ての小学校を訪問し、新入学児への犯罪被害防止・交通安全指導を実施している。平成28年度は、1,007名の新入学児童に呼び掛けを行い、保護者からは防犯や交通安全の意識が高まったとの声が寄せられている。



家庭教育への支援

3 5 熊谷市立星宮小学校PTA

【家庭教育への支援】

<全保護者を対象とした家庭教育学習>

全校児童数65名の小規模校の特色を生かし、学校・PTA・地域が連携、協働している。在学中の児童がいない地域住民もPTA準会員として登録し、様々な活動に参画している。中でも、家庭教育への支援に力を入れており、「親の学習」「家庭教育学習」の実施を通じて、子育てに対する悩みの解消や保護者同士の繋がりを作ることで、児童の成長にも良い効果が現れている。



36 本庄市立本庄西小学校PTA

【家庭教育への支援】

＜親と先生が支え合う「親先組」＞

親と先生がお互いに支え合う組織という意味の「親先組」というニックネームを作り、PTAが各家庭に向けてできることは何かを考えて活動している。「ふれあいドッジボール大会」や「給食試食会」では、実施後に家庭で話をするようお願いしている。親子で会話する時間を増やすことで、子供たちは親から関心を持たれていると実感し、自己有用感の醸成に繋がっている。



37 吉見町南公民館

【家庭教育への支援】

＜伝統行事を通じた家庭教育支援＞

毎年7月7日近くに小学生とその保護者を対象とした七夕まつりを実施している。公民館と町の母子愛育会が連携し、就学前幼児、小学生とそれぞれの保護者を結びつけている。また、小学校PTA役員と公民館が連携した「家庭教育学級」を企画・運営し、親子で参加・体験できる教室を実施することで、家庭教育への支援を行い、子供たちの豊かな心の育成に繋がっている。



教育活動全般

38 熊谷市立熊谷西小学校

【特別支援教育の充実】

＜インクルーシブ教育の推進＞

平成26年度より、全校を挙げて「共生社会の形成」や「インクルーシブ教育」を推進し、特別支援学級と通常の学級との交流及び共同学習に全校で取り組んでいる。特別支援学級の児童においては、体験の幅が広がることで、自信や学力の向上が図られ、通常の学級の児童においては、障害のある児童への理解が深まり、困っているときに進んで支援する行動力が養われている。



39 長瀬町立長瀬第一小学校

【人権教育の推進】

＜「まごころをつくしあい、みんな仲よく、たゆまず学び続ける児童の育成」＞

平成27・28年度に文部科学省から研究指定校として委嘱を受け、「まごころをつくしあい、みんな仲よく、たゆまず学び続ける児童の育成」をテーマに設定し、いじめ悩み事アンケート、いじめ防止キャンペーンなど、様々な取組を推進した。児童の自己有用感が高まり、まごころを伝え合える人間関係が形成され、自他を大切にすると人権意識が高まっている。



40 地球っ子クラブ2000

【多文化共生の推進】

＜外国につながる子供たちが力を伸ばせる地域づくり＞

平成12年より「外国につながる子供たちが、本来の力を伸ばして社会で活躍するために十分な教育が受けられること」を目指し、「親子参加型の日本語教室」や「多言語おはなし会」「料理講習会」などを実施している。多文化の子供たちが戸惑うことなく日本の学校で力を伸ばせるように、地道に幅広い取り組みを続けており、地域の多文化共生の推進に大きく貢献している。

